# JAから届けよう ひろしまのお米！

ひろしま米イメージキャラクター「い～ねくん」

組合員の皆様、お米はJAにおまかせください！

昨年も多くのお米をJAに出荷いただき、誠にありがとうございました。

本年産米につきましても、JAを通じて販売する「ひろしま米」にはたくさんの消費者や実需者の皆様から期待が寄せられています。

昨今の米をめぐる情勢は、全国的に作付け転換が進み、需給環境は改善の方向に進んでいるものの、需要量は一貫して減少傾向にあります。また、食生活の変化やSDGsの浸透等を背景に米の消費形態やニーズ・販売チャネルは急速に変化しています。

このようななか、持続可能な農業を実現するためには、“消費県”である地の利を活かし、JAグループ一体となり将来を見据えた県産米の付加価値向上や契約栽培を通じた需要拡大を図るとともに、その需要に見合う農業生産基盤の維持・確保や供給体制の確立が重要となります。

JAグループ広島では、将来の環境変化を見据えた「ひろしま米」の生産・販売の取り組みにより、県産米の消費拡大や産地ブランドの育成・強化、実需者等との長期安定的な契約取引の拡大につなげ、農業生産基盤の維持、農業所得の増大につなげてまいります。

これからも常に皆様の近くで「ひろしま米」の生産振興から販売・消費拡大まで取り組んで参りますので、JAへの米の出荷につきまして引き続き、ご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

JA全農ひろしま

# JAグループ広島 米穀事業の取り組み

PART 1

## 広島県産米の消費拡大

「ひろしま米はひろしま愛プロジェクト」を通じ、販促活動を強化し量販店や産直市、飲食店等において、広島県産米の認知度向上や付加価値の創出、ファン作りを進め、農家の所得向上実現を目指します。

プロジェクトロゴ

「ひろしま米はひろしま愛プロジェクト」ランディングページ（専用サイト）

PART 2

## ひろしま米の価値向上につながる商品開発・販売展開

### （1）産地ブランドの育成・強化に向けて

新しい価値観を創造・演出することで、付加価値を見出し、品種、地域にて水平展開をすることにより、ひろしま米ブランドを確立します。

### （2）「SDGs」（持続可能な開発目標）や持続可能な農業の実現へ向けて

資源循環等により、環境負荷の低減を図ることで持続可能な農業の実現を目指すだけではなく、それを消費者に伝えることで、近年高まりつつあるエシカル消費を促し、米の需要拡大に繋げます。

◆ 3-R商品 ◆

3-R商品（おおあさこしひかり、せらにしあきさかり、ライスバーガー、お米アイス）

PART 3

## 実需者等との安定的な取引拡大

確実な需要が見込める中食・外食実需者等との複数年契約栽培（5年産計画2,000トン）や、国の支援事業を活用した米穀販売事業者との主食用米の長期計画的な販売の取組（4年産米実績1,000トン）により、ひろしま米の安定的な取引拡大を進めます。

PART 4

## 原材料米・水田活用米穀（加工用米や飼料用米等）による水田フル活用の推進

県内を中心とした確実な需要に向けた水田フル活用を推進し、交付金等を活用した生産者の経営安定に寄与します。

こめたまご
（▶耕畜連携広島こめたまご）

JA全農ひろしま